

第五十八回句会 俳句

【高点句】

- ☆草いきれ父に負はれし記憶ふと 〈明美〉  
☆植木屋の枝切る音や夏深し 〈青蛙〉  
☆祖母からの梅酒最後のひと滴 〈撫子〉

【各自一句】

- ・ 軋みつつ曲がる江ノ電四葩分け 〈眞澄〉  
・ 地ビールを呷り目指すは犬山城 〈安津子〉  
・ 未知の道自転車で行く夏休 〈青蛙〉  
・ 出産の知らせカンナの開く朝 〈郁代〉  
・ メタボでも誘惑勝てぬ生ビール 〈隆司〉  
・ 涼風やワインの先のパルテノン 〈緑〉  
・ 白靴の異人のガール長き脚 〈一馬〉  
・ 窓開けてビル越しに見ゆ揚げ花火 〈雄記〉  
・ 風鈴を掛けて茶店の長廂 ながびきし 〈明美〉  
・ 夏帽子うしろ姿の淑女かな 〈童心〉  
・ 貴船路にあかり灯りて鱧の膳 〈伸子〉  
・ ラムネ注ぐ午後の仕事の背中押す 〈撫子〉  
・ 梅雨明けて三國志観てジャズ聴いて 〈剛至〉  
・ 逆光や近づく君と夏帽子 〈莫院〉  
・ 梅雨明けてやっとビールのうまさかな 〈哲雄〉  
・ 若き日の亡父のメモ読む夜の秋 ちち 〈茂〉

＊以上、45句（3句ずつ14名と2句1名、1句1名）より、選句は18名により4句  
ずつ

＊高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で2句）

＊各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に  
偶然記載された順に掲載）